

新規事業の立ち上げを応援する 第23期 生活クラブ福祉たすけあい助成（スタート助成）

16団体に総額4,944,942円助成しました



助成団体情報は
こちらから

設立後間もない団体や既存団体による新規事業の立ち上げを応援する福祉たすけあい基金スタート助成は、最大3か年まで支援できる伴走型のプログラムです。

- **一般社団法人 森と泉**（川崎市麻生区）
駅前屋台と縁側と庭でつなぐ多世代交流のまちづくり
- **一般社団法人 KidsFine**（相模原市中央区）3回目
育児世代が安心して過ごせる居場所、コミュニティスペース
- **NPO法人 ぴあっと**（相模原市緑区）3回目 **活動報告**
「ぴあっと発達情報サイトみかた」の機能の拡充
- **えがわさんちの会**（座間市）
みんなの居場所 地域のサロン
- **かながわ県医療的ケア児者 家族会 つなぐ〜**（茅ヶ崎市）
かながわ医療的ケア児支援センターとの共催交流会事業
- **わわわのわ**（茅ヶ崎市）2回目
「やさしいつながりのある暮らし」と「里山アソマナ（遊び&学び）文化」
- **一般社団法人 リトルハブホーム**（茅ヶ崎市）3回目
おむすび寺子屋事業
- **はーぶず**（小田原市） **訪問取材**
育ち支援団体 はーぶず居場所作り事業
- **わってらか**（小田原市）
親子と地域をつなぐ「まちの居場所」づくり
- **フリースペースいろえんぴつ**（平塚市）
学校に行くのが苦しいと感じる子どもたちの居場所運営事業
- **特定非営利活動法人 むすびいと**（横須賀市）
不登校の居場所「ミライのたいよう」及び高学年の居場所「ぬくもり」
- **こだぬき会**（秦野市）
フリースクール「はだの自然学校」
- **みんなの居場所☆まんま遊〜と**（南足柄市）
駄菓子家まんま遊〜と みんなの居場所事業
- **NPO法人 だあれ**（二宮町）
多世代交流と自己実現による町づくり事業
- **ゆがわら・まなづる challenged**（湯河原町）
障がい児者およびその家族への支援事業と障がいに対する理解促進活動
- **特定非営利活動法人 赤ちゃん食堂プロジェクト「ままな」**（寒川町）2回目
赤ちゃん食堂の拡大と立ち上げ支援の充実

理事長からの メッセージ

〈小さな・温かい投資〉でコミュニティを豊かに！

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金 理事長 荻原 妙子



株価が高く、インバウンドが押し寄せても、コミュニティが弱くなってしまっても、私たちの日々の暮らしが豊かとはいえないのでは、と感じています。人口減少、一人暮らしが半数を超え、格差の広がる社会の対抗策として、政府も自治体も口をそろえて「共生社会」と言いますが、その実態は？「生活クラブまちづくり基金」は、コミュニティにつながる場を豊かにするための小さな・温かい投資。あなたの周りに、居場所、子ども食堂、フードパントリー、

フリースクール、無料学習塾、移動支援、子育てや介護の仲間と話せる場所など、つながれる場、困ったときに相談できる場、あなたがボランティア参加できる場所はいくつありますか？

つながれる場を作る小さな投資！毎月100円の投資（生活クラブまちづくり基金寄付）で、コミュニティを豊かに！



助成団体訪問

訪問団体 **はーぶず**（小田原市）

助成事業 育ち支援団体 はーぶず 居場所作り

取材／記事 木村あかねさん（湘南生活クラブ生活協同組合理事・2024年度福祉たすけあい基金選考部会メンバー）



子育て中の「誰か」のお役に立ちたくて

地域の子育て中の親子と周りに暮らす人々が出会い、寄り添うことができる居場所を作りたい、という代表の野原さんの思いから始まった「はーぶず」。活動拠点は小田原市の山岸地区で、生活クラブ組合員にとっては「みかん」や「梅」の生産地としてお馴染みの下曽我の近隣になります。JR下曽我駅から、歩くこと20分程度のところに「はーぶず梅園」と納屋がありました。ここは野原さんの叔母が以前梅農家を営んでいた場所で、一時は荒れてしまった梅林を整えて子どもたちが遊べる場にして活動をされています。

「はーぶず」という耳慣れぬ言葉は野原さんの造語です。由来は、子どもたちの心と権利を守り光輝く多様性を応援したいという理念からHeart(心)・Right(権利)・Protect(守る)・Support(応援)の頭文字からつくられています。

野原さんが活動をはじめめるきっかけは彼女自身の第3子の出産です。久しぶりの出産に際し、上のお子さんたちを育てていた頃を思い出し、若くて何にもわからない中で自分だけが頑張って子育てをしているつもりでいたのが時を経て、実はものすごく近所の方々に



手作りで地道に整備した農園



リフォームされた納屋
参加者がホッとできる
スペースとして活用

助けられていたこと、そのありがたみに気づいたそうです。今度は自分が地域の方々への恩返しとして居場所を作り、子育て中の保護者のお役に立ちたいと思ったそうです。



代表 野原美和さん

会社員として男性と肩を並べてバリバリ働いていた野原さん。出産のタイミングはちょうど昇進間近だったそうですが、会社で成績を上げ評価されても仕事の代わりになる人はいる。けれども、我が子の母親に代わりはいないと、最終的に退職を選び、子育てと居場所の活動を選択することにされたそうです。

居場所を「気負わずに話ができる場・プレイスづくり」と考えてプレイパーク、旬の農業体験、子ども縁日などを開催されています。野原さんの「今の社会にこういうものがいい」という熱い思いと行動力が共感した周囲の方たちを巻き込み活動が広がっていることが良くわかりました。

また、野原さんは退職後、専門的な知識を学ぶために小田原短期大学で保育士と幼稚園教諭の資格を取得され、25年度から、はーぶずの延長線上に「森のようちえん ふってもはれても」や「親子の居場所 にじのぐるり」も始めています。これからどのように広がっていくのでしょうか。私自身も野原さんの情熱と行動力に惹き込まれました。これからの展開がとても楽しみです。

選考を終えて

選考部会のお役を引き受けたものの、自分に務まるのだろうかと思っていたのですが、届いた申請書を拝読するうちに様々な思いを持って活動されている方の熱意、しかもいくつもの団体があることに感動しました。野原さんは「仕事をしていた頃は利益を追求する人たちとしか出会えていなかったけど、活

動をはじめたら、いい人ばかりに出会うようになって、こんなにいい人が世の中にいたのだと驚いた」とおっしゃっていて、自分もまったく同じことを感じています。そしてこの基金の活動を理事活動を通じて広げる使命を実感しているところです。



湘南生活クラブ
木村あかねさん

かながわ生き生き市民基金には、個人や団体、企業からの寄付を原資に、寄付者オリジナルの助成プログラムを作るしくみ「オーダーメイド助成」があります。24年度はJA横浜とユーコープからご寄付頂きました。選考にあたっては、寄付団体からも選考委員として参加して頂きました。



詳細はこちら
◀JA子どもの未来支援助成
ユーコープ子ども応援助成▶



第3回 JA横浜子どもの未来支援助成

横浜市内の14団体に総額200万円助成しました

特別選考委員・JA横浜組織部部長 小野 英明様より

JA横浜は人と自然を大切にし、社会の発展と豊かな暮らしに貢献する地域に根ざした農業協同組合として「食」と「農」を基軸とする活動を通じて、人々のたすけあいを育み、安心して暮らせる社会づくりに取り組んでいます。3回目の助成の特徴は、「経済的貧困」のみならず、人の関わりや家族関係、社会活動等の「経験的貧困」の解決に向けて活動が広がっていくことを願い、学習支援活動に加えて体験型課外活動を対象とした点です。多様な経験や体験を通じて子どもたちが豊かな未来を創造できるように願っています。

私たちJA横浜は、地域の将来を担う子どもたちのために、今後も貧困問題の解決に向けてひとつでも多くの市民団体を応援して参ります。



第1～3回 JA横浜子どもの未来支援助成団体

NPO法人 宮ノマエストロ（泉区）

代表 高橋 裕子さんからのメッセージ

無料塾は経済的理由等で塾に通いたくても通えない子どもたちに平等に学習や体験の経験をしてもらう事が目的ですが、体験活動など幅広い活動支援には助成金が必要です。昨年の助成のおかげで、地域の方々との体験活動ができました。子どもたちに勉強に意欲を持ってもらえたことが一番ですが、教える側の大学生、地域の大人にも子どもたちの成長を見てもらえたことは収穫でした。ありがとうございました。

第4期 ユーコープ子ども応援助成



生活協同組合ユーコープでは、『夢や希望を持てる未来を、子どもたちに!』として、子どもの貧困や教育の支援のために、書き損じハガキ、未使用切手などの寄付活動を行なっています。こちらを原資として、子どもとその家庭を対象として拡がりを見せてきた食支援や学習支援活動への助成を2021年より開始し、延べ105団体への支援を実施してきました。

第4期は、助成対象事業を子ども食堂

28団体に総額136万円助成しました

とし、広く申請を募りました。新規応募が12団体あり、活動エリアも広がりを見せています。コロナ以降、社会的な孤立がより深まっていく中、子どもとその家庭を対象とした食支援活動は欠かすことのできない地域のインフラになってきています。助成金を有効に活用し、持続可能な地域活動として根付いていただきたいと願っています。

（選考委員長 手塚 明美）

特別選考委員、
生活協同組合ユーコープ
かながわ県本部長
川澄 一志様より

ユーコープ組合員から寄せられた善意が、子どもたちの未来、そして笑顔につながっていくことを願っております。

助成団体

活動報告



立ち上げたウェブサイトの
トップページ

生活クラブ福祉たすけあい助成 3回目の助成となる団体からメッセージ

NPO法人 ぴあっと（相模原市） 代表理事 五十嵐 舞子さん

助成事業：相模原×こどもの発達支援に特化した情報サイト「みかた」の取組み



NPO法人ぴあっとは、発達障害や知的障害のあるお子さんとそのご家族、支援者の“あったらいいな”を形にするため、2023年4月に設立しました。立ち上げ当初より福祉たすけあい助成を3年連続でいただき、心より感謝申し上げます。

孤立しがちなご家族に地域とのつながりを感じてほしい、またお子さんの選択肢が増えてほしいとの思いから、相模原に特化した発達支援情報サイト「みかた」を立ち上げました。これまでにご家族の体験談や福祉制度の紹介、イベント情報、子育て4コマなど170件以上の記事を発信し、2024年3月時点で月間2,500PV、Google検索表示38,000

回を超えるサイトに成長しました。2年目には福祉施設のマップ機能を追加、3年目となる今年度は収益化にも取り組み、4年目以降の自主運営に向けた基盤づくりを進めています。

また「みかた」を通じてぴあっとの活動を知っていただく機会も増え、イベントやコミュニティへの参加にもつながっています。今後も地域に根ざした発信を続けてまいります。このたびは温かいご支援誠にありがとうございました。

地域の支援学級の
イベント取材



参加者募集

第11回 相続セミナー

参加費無料

日時 8月22日(金)
13:30～16:30

会場 新横浜オルタナティブ生活館
2階オルタリアン

JR、横浜市営地下鉄、相鉄、東急
「新横浜」駅より徒歩およそ7分

定員 会場参加：16名、
zoomによるオンライン参加：人数制限なし

要 事前申し込み・下記のメール、お電話でご予約ください

内容

相続の基礎知識 相続まるわかり
～いざというときに困らないために～

講師 金子大也 氏（金子税務会計事務所、
公認会計士、税理士）



相続登記の申請義務化について

講師 清水保代 氏（司法書士、清水司法書士事務所所長）



前回
受講者の声

- 相続について具体的によく分かりました。遺贈について知ることができて良かったです。
- 不動産の相続税計算方法が分かり参考になりました。
- 夫婦で参加したので、食い違っていた知識が修正され共有化が出来てよかったです。

専門相談員による
相続に関する
無料相談

随時受付中

かながわ生き生き市民基金では、専門相談員と連携して相続に関する問題やトラブル、遺言、遺贈寄付など、相続に関する全般的な相談を実施しています。無料相談をご希望の方は、電話でご連絡ください。弁護士、公認会計士、税理士、司法書士、行政書士の資格を持つ専門相談員にお繋ぎします。
※初回相談（30分程度）は無料です。それ以降は有料となります



非営利団体サポート学習会 オンライン開催

日時 9月9日(火)14:00～16:00

内容 非営利団体法人会計と法人設立について

講師 早坂 毅 氏（早坂毅税理士事務所・行政書士事務所）

参加費
無料

相続セミナー・学習会等のお申込み・お問い合わせは…



公益財団法人 かながわ生き生き市民基金

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル6階

TEL:045-620-9044 info@lively-citizens-fund.org

※お電話の受付は平日9:00～17:00になります

